

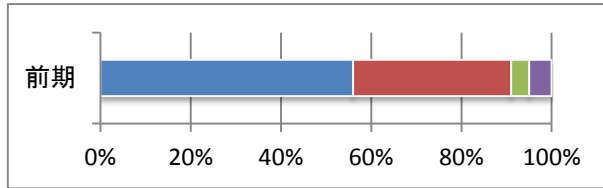
H27度 佐賀大学文化教育学部附属小学校

前期学校評価

1 学校や学級の目標を知っていますか。

【児童】

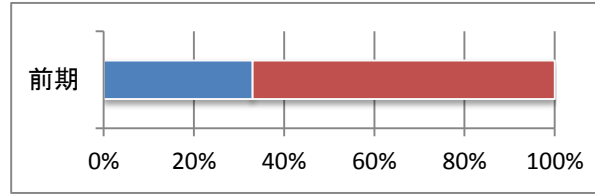
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	56%	35%	4%	5%	100%



1 学校は、学校(級)便り等で学校の教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

【職員】

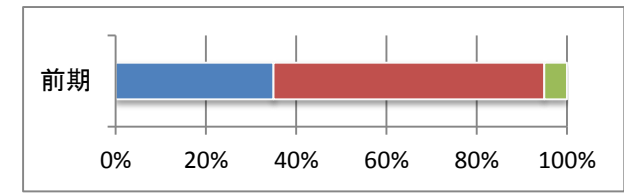
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	33%	67%	0%	0%	100%



1 家庭では、育友会総会や学校(学級)便り等で、学校の教育目標や教育方針を知っている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	35%	60%	5%	0%	100%



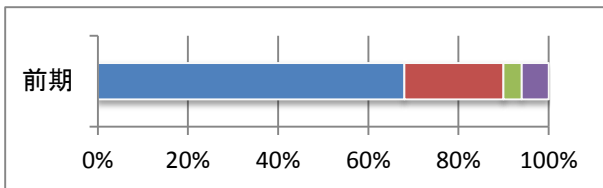
・学校は、全教職員が学校(級)便り等を通じて、教育目標や教育方針、学校での児童の様子などを発信しようと努力している。一方、保護者は95%が学校教育目標や教育方針を知っていると回答していることから学校教育に対する興味や関心の高さが伺える。今後も、積極的な発信に心がける学校と、学校の取り組みに関心をもつ保護者との関係は継続したい。

・児童については9%の児童が知らない(あまり)と回答している。学校や学級でどのような子どもに育て欲しいのかについて繰り返し指導する必要がある。

2 学校便りや学級便りなど、学校からのプリント類をお家の人に渡していますか。

【児童】

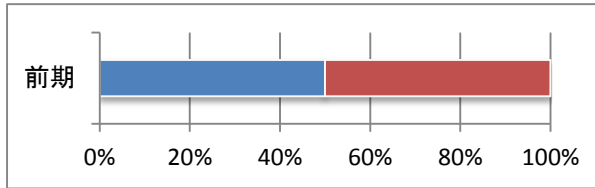
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	68%	22%	4%	6%	100%



2 学校は、学校便り、学級通信やHP等で学校や学級の様子を伝えるように努めている。

【職員】

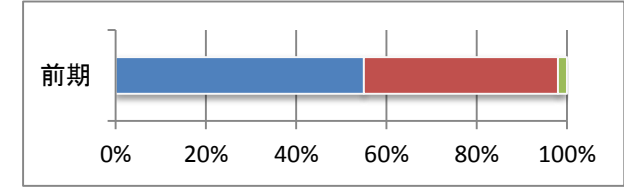
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	50%	50%	0%	0%	100%



2 家庭では、学校や学級から出させる便り等で、学校や学級の様子を知っている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	55%	43%	2%	0%	100%

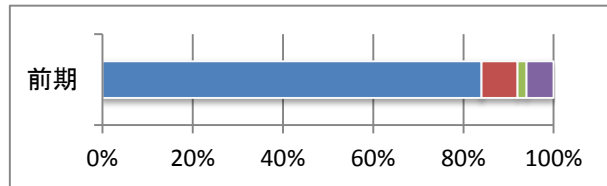


・学校(級)便りは、学校や学級での児童の様子を知らせると共に、学校生活上の成果や課題、指導に係る共通理解事項を伝える重要なツールである。確実に保護者の手に渡るよう継続した指導が必要である。

3 学校に行き帰りに交通事故に遭わないよう、知らない人からの声かけに合わないよう気をつけていますか。

【児童】

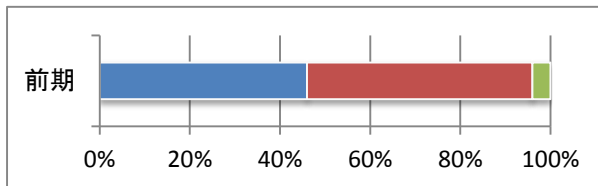
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	84%	8%	2%	6%	100%



3 学校は、交通安全、危険箇所等に気を配り、火災・地震・水害・不審者への対応について指導を行っている。

【職員】

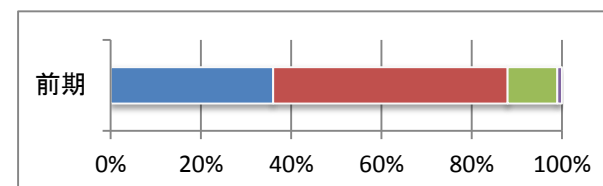
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	46%	50%	4%	0%	100%



3 家庭では、交通安全や非常事態の時の注意や逃げ方について、子どもたちと話題にしている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	36%	52%	11%	1%	100%



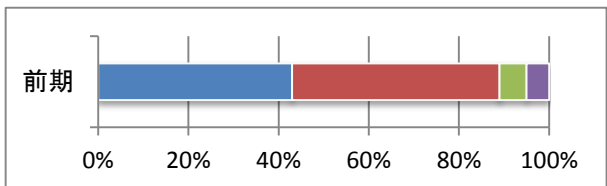
・児童の結果(よく、大体できている92%)は、日常的な繰り返し指導の結果であろう。分かっていることと実際に行動に移すこととは違うため、具体的な場面での行動についての指導や訓練が必要である。また、児童自身に発達段階に応じた危険予知能力を身につけさせることが今後の課題である。

・保護者の「あまりできていない」「できていない」が12%あることが気になる。家庭での安全指導が充実するように学校側から情報の提供が必要であるとともに、学校情報携帯メール等での定期的な啓発が必要である。

4 授業中、ふざけず、先生の話をしっかり聞いたり自分の考えを伝えたりしていますか。

【児童】

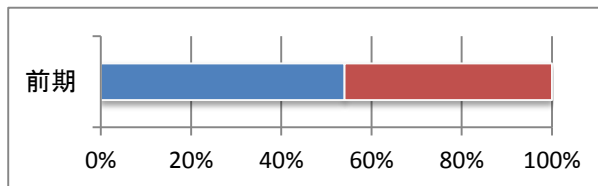
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	43%	46%	6%	5%	100%



4 我々は、子どもたちの学習力を育成するために、効果的な授業を行っている。

【職員】

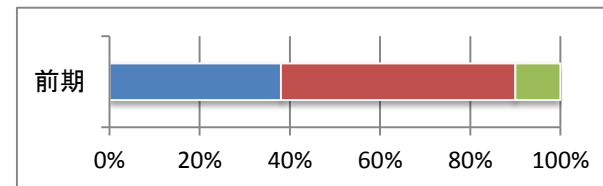
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	54%	46%	0%	0%	100%



4 家庭では、分からないことは辞書や本で調べたり人に聞いたりして進んで学ぶように声かけをしている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	38%	52%	10%	0%	100%



・全ての教職員が学習力を育成するために効果的な授業を行うべく努力している。今後、担当教科をはじめ更なる授業力の向上と学習を支える学級経営の充実に努力していく必要がある。

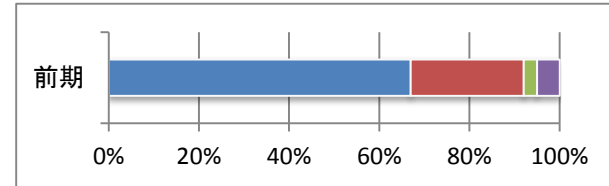
・授業力向上研修会の感想にもあった「発表するときの声の大きさ」などについては全クラスにおいて重点指導事項として取り組む必要がある。

・家庭学習の重要性を考えると10%の保護者が「あまりできていない」と回答している。学校(縦)便りなどを通じて情報提供しながら、学校だけではなく、家庭においても自ら学ぼうとする姿勢を身につけさせていきたい。

5 学習の準備や宿題をきちんとしていますか。

【児童】

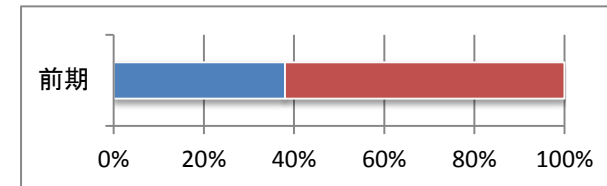
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	67%	25%	3%	5%	100%



5 我々は、学習の準備、話し方、聴き方等学習習慣の定着に努めている。

【職員】

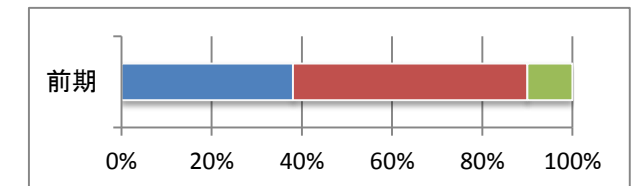
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	38%	62%	0%	0%	100%



5 家庭では、翌日の学習準備や宿題について、子どもに声かけを行い、結果についても確認している。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	38%	52%	10%	0%	100%

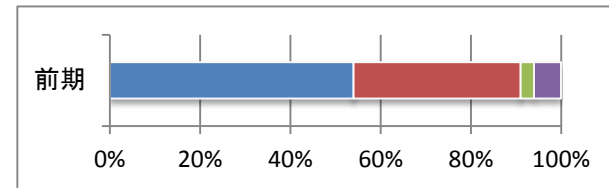


・児童・保護者の回答から約10%の児童については課題があると考え。基本的な学習・生活習慣の定着は学力向上には欠かせない重要な課題である。児童間に個人差があると思われるため、個別の指導が必要であると考え。
 ・附属小学校として求める児童の姿を検討・共通理解し、保護者の協力を得ながら指導を徹底することが大切である。

6 月の生活目標や自分や学校の「あたりまえ」を守っていますか。

【児童】

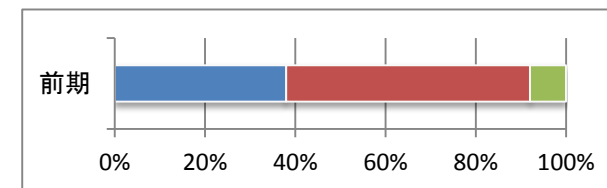
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	54%	37%	3%	6%	100%



6 我々は、挨拶・歩き方・後始末など生活習慣の定着に努めている。

【職員】

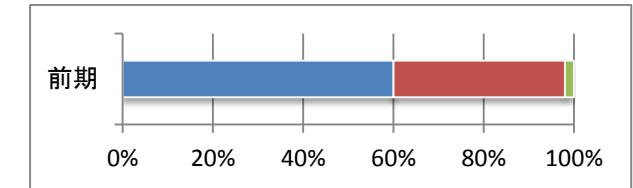
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	38%	54%	8%	0%	100%



6 家庭では、挨拶、朝ご飯、自力登校等、生活習慣を整えるよう努めている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	60%	38%	2%	0%	100%

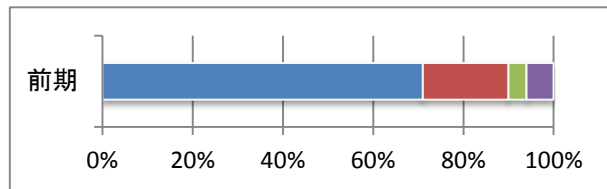


・生活のきまり等については全職員が共通理解、共通指導が求められる。どの学級においても、どの教職員においても共通した指導が必要である。
 ・スリッパ並べ、廊下歩行等については定期的に繰り返し指導を行うことで定着を図りたい。
 ・児童の送迎については、学校からの便りや学校情報携帯メールで保護者へ啓発し、保護者間で許さない雰囲気築いていくことができるようにしていきたい。

7 学校や家で誰とでも仲良く勉強したり遊んだりしていますか。

【児童】

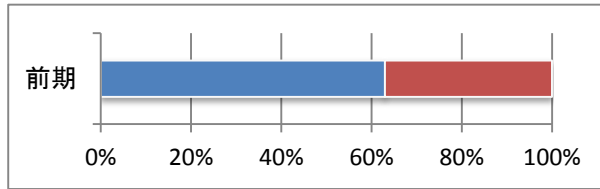
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	71%	19%	4%	6%	100%



7 我々は、思いやりの気持ちを育てる指導を通して、いじめなどのない集団作りを行っている。

【職員】

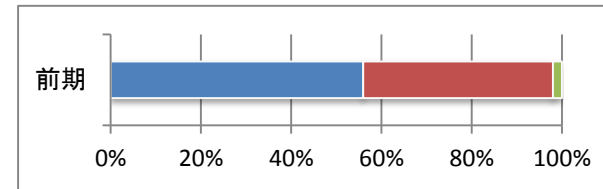
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	63%	37%	0%	0%	100%



7 家庭では、子どもに誰とでも仲良く学習したり生活したりするよう声かけをしている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	56%	42%	2%	0%	100%

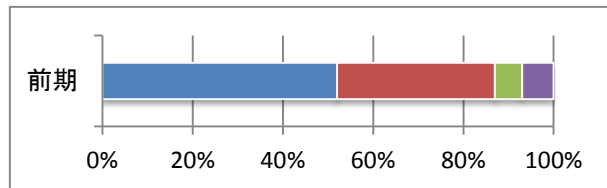


・児童の10%が誰とでも仲良く勉強や遊ぶことについてあまり、できていないと回答している。割合の問題ではなく、教職員、保護者が、そのような思いを抱いている児童が1人でもいることを重く受け止める必要がある。
 ・いじめ調査を定期的に行っていくことで、実態を把握すると共に、児童の少しの変化を敏感に察知し、早期発見・早期解決に努めたい。
 ・保護者からの情報提供に対しても管理職を含め丁寧に対応できる体制を整える必要がある。

8 (低)お家で自分の仕事を決めて、忘れずにしていますか。
 (高)児童会、委員会、縦割り活動で自分の役割を自覚し、学校や下級生のために活動できていますか。

【児童】

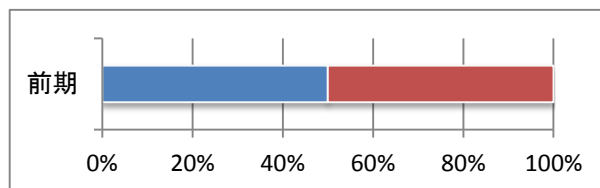
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	52%	35%	6%	7%	100%



8 我々は、児童会や委員会、縦割り活動を通して、児童の自治力を育成・向上させている。

【職員】

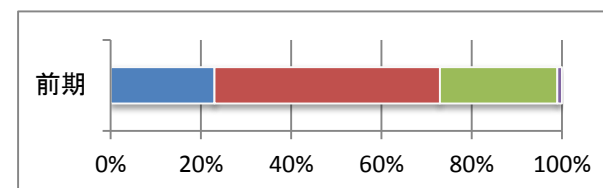
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	50%	50%	0%	0%	100%



8 家庭では、子どもの仕事や役割を決めて、責任を持たせてさせている。

【保護者】

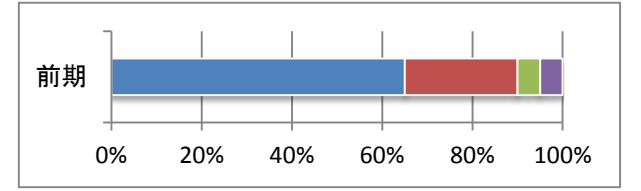
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	23%	50%	26%	1%	100%



・家庭での手伝いや学校での仕事は、児童の自立を促すためには重要な教育活動である。学校や家庭での役割の明確にし、根気強く、定着するまで指導を続けていくことが必要である。
 ・保護者の結果から、育友会を中心にたくましく生きる力等に焦点を当てた講演会等を通じて、保護者の啓発に努めることも必要である。

9(低)自分が決めたことは、最後までがんばろうとしていますか。
 (高)縦割り掃除やなかよし活動で低学年の人が困らないよう、気を配れていますか。

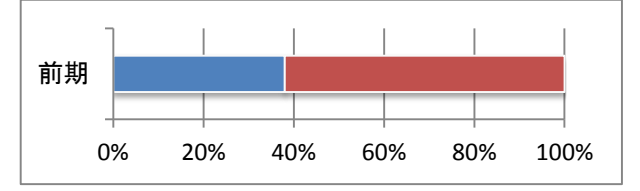
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	65%	25%	5%	5%	100%



9 我々は、縦割り掃除、なかよし活動を通して、リーダー性を育成している。

【職員】

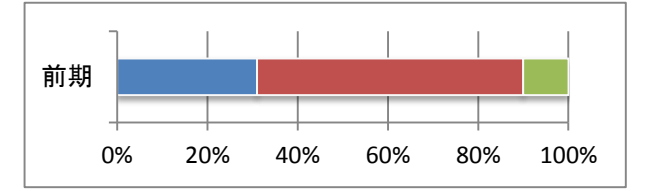
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	38%	62%	0%	0%	100%



9 家庭では、子どもの自主性を尊重し、最後までやり遂げられるよう見守っている。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	31%	59%	10%	0%	100%

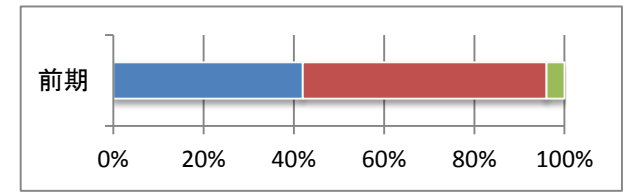


・児童と保護者のあまり、できていないの割合10%が合致する。保護者の意識を変える必要もあるが学校と家庭が連携して取り組んでいくことが必要である。
 ・学校だけではなく、家庭においても「自分で決めさせること」「自分が決めたことは続けさせること」の大切さを情報発信して保護者と共に指導を続けることが必要である。

10 我々は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【職員】

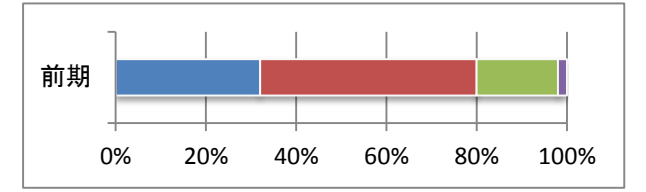
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	42%	54%	4%	0%	100%



10 育友会活動に積極的に関わり、巡回活動や委員会・ボランティアに参加している。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	32%	48%	18%	2%	100%



・保護者の20%が育友会活動への関わりが十分ではないと回答している。仕事の都合で昼間の活動・会合に参加できない実情もあると思われる。ボランティアをはじめ学校に対して非常に協力的である育友会の伝統を維持していくために実態を把握し、今後検討していく必要がある。